



「おことわり」今号の会報「あがた」は東京同窓会総会・懇親会の中止決定以前にお寄せいただいた内容で構成されています。 広報委員長 戸田誠(高28回卒)

会報 あがた

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

発行所：
松本県ヶ丘高等学校
東京同窓会
〒157-0061 東京都
世田谷区北烏山 7-2-18
インテリアARAKI内
TEL 03-3308-5610
発行人：佐藤 悦雄



電子黒板とiPadでの1年生の英語授業

縣陵の探究型学習の今

長野県下はもとより、全国的にも注目されている松本県ヶ丘高等学校探究科の取組み。文科省より探究型学習の指針が示されてから数年が経過したが、本校の取り組みに対する期待は大きく、本年の探究科への志願倍率は、前期選抜で二・二九倍、後期選抜で三・三二倍という非常に狭き門となった。本年三年

目を迎えた「探究科」における取組み、課題、同窓会への期待について、探究科主任の卯之原智也先生にお聞きした。

Q・「探究科」が創設された目的は？

A・今後、大学入試制度が変わっていく中で、これまでのような知識の詰め込みではなく、主体的にその知識を活用して、

自ら課題を発見して、その解決策を実行する能力が評価されるようになります。そのため、詰め込み教育より探究型学習の充実が求められるようになってきました。本校では特に「理数」と「英語」で高い学力を養成するため「自然探究科」と「国際探究科」を創設しました。

Q・探究型学習の特徴は？

A・これまでのように一方的に先生が話すのを聞くだけという講義形式の授業を脱却して、生徒が自分たちで思考し、主体となって展開される授業を主眼にしています。この探究型学習は、探究科だけでなく、普通科でも他校に先駆けて取り組んでいます。

Q・先生の役割は？

A・生徒が自分たちで活動できるようにする先導役やファシリテーター役が求められています。教えるより、見守ったり、気付かせたり、生徒が自分で見できるように取組みが求められます。そのためにWiFiでつなぐiPadなどのICT



インタビューを受ける探究科主任・卯之原智也先生(卯之原先生は新年度から教育委員会学びの改革支援課指導主事へ転任)

機器は授業で必須です。

Q・生徒は具体的に何を探究するのか？

A・自分が興味を持つものは何でもいので、自分で見つけて、「その課題を解決するにはどうしたらよいか」を探究するスキルを磨くことを目的としています。そのスキルは今後、大学でも社会でも求められます。

Q・授業のカリキュラムは？

A・探究科も普通科も一年生の前期で、探究型学習が必要となるスキルを身に付けます。例えば、自己分析、情報収集、データのまとめ方など基礎スキルをまず身に付け、一年生の後期は、実践です。テーマを地元で絞って、「信州学」と呼んでいます。松本市や長野県全体などで、どんなところに課題があって、それをどう解

決すればよいのかという提案をグループで行います。二年生になると、地元を超えて、日本全体、もっと大きく見て世界という視野をもって、個人で課題学習に取り組んでいきます。その二年間の成果の発表会を毎年コンテスト形式で開催しています。

Q・生徒の進路は？

A・生徒は自分が興味をもつことを突き詰めていくうちに、明確に自分が進みたい進路を考え、生徒が増えてきていると思います。特に理科系は、こういう先生がいるからとか、こういう施設が整っているからなど、学校を選ぶ際に深く考えていると思います。

Q・同窓会に期待することは？

A・WiFi設置で協力いただけましたが、iPadを生徒全員が購入できないこともあるので、購入できない生徒のための貸出iPadなどハードウェア面でのサポートは有難いです。また、生徒は興味に応じて様々な企業訪問などを行いますが、同窓会の幅広い人脈を活かして、訪問先やOBのご紹介などソフト面でのサポートに大きな期待を抱いております。



杉村修一 学校長 インタビュー



内外から注目される中、探究科設置から二年が経過し、生徒たちの学習意欲は益々高くなり、外部との連携や設備の拡充など様々な変化が起きている。

外にいとよくなかなかうかがうことのできない変化や学校としての展望について杉村修一学校長に伺った。

＊

——探究的な学習が進められる中でどういった変化が生まれてきているのでしょうか。

探究的課題研究の授業が始まることにより、一番変化したのは縣陵の先生方だと思います。先進校から学びつつ、生徒たちが主体的に学ぶための新たな授業展開に挑戦する先生方の姿勢が一番の宝物だと思っています。そして、生徒たちもすぐ前向きに色々な活動に取り組む姿があちこちに見られます。生徒会活動や部活動に生き生きと活動し、色々な取り組みに挑戦

して失敗を繰り返しながらも前に進む輝く生徒たちを嬉しく見えています。

——探究科の設置は何か影響を及ぼしているのでしょうか。

先進的取り組みとして、全県の高校教育に大きく貢献していると思います。とりわけ「縣陵の学びを支援する会」のアドバースによる校内無線LAN設置は縣陵にとって大きなセーラースポイントとなっています。生徒たちには、高価ではありますがiPadを購入してもらい、授業でも探究活動でも、検索や発表に使っています。それに伴い教員もiPadを購入して、授業でもどう生かすかの研究も進み、教員間での情報共有や技術共有が進んでおります。県教委のICT機器への予算付けは縣陵の教育実践をもとに進んだそうです。

——縣陵の探究的な学習を進めるうえでの目標は何でしょうか。

縣陵の「生徒育成方針」は「三大精神による探究を実践し続ける縣陵人を育てます」とし、「確かな知」…深く試行し、柔軟に判断するための確かな知、「関わる力」…自分の道を知り、歩んでいくために他と関わる力、「挑戦する力」…世界を切り開いていくためにあきらめずに挑戦する力

——企業参加による研究発表会や特別授業などに関してどのようなお考えでしょうか。

もともと学校は地域の人たちに守られ、育てられてきた歴史を持つております。昨今の社会情勢の中で、もはや教員だけでは教えることができない専門性のある事や社会とのかわり、地域をはじめとする社会人に教えるを乞わねばなりません。そのお仕事の途中で得ていただいた知見を生徒たちにお話ししていただくことは、生徒たちの育

成に必要不可欠だと考えております。そして縣陵だけでなく「松本平全体」で高校生を守り育てる風潮を復活させたいと考えています。縣陵さえ良ければというのではなく、まずは松本市内、そして松本平、そして長野県、日本、世界へと広げてゆきたいと考えています。これについては「縣陵の学びを支援する会」の存在が大きくかわつていただいております、頼もしく感じております。

——同窓会、同窓生に期待する点がございましたらお聞かせください。

繰り返し申しておりますが、是非とも学校に足を運んでいただき「授業を見ていただいた」です。その中で、教員や学校として必要な部分は是非とも手弁当でご協力願いたいと思います。現在同窓会においては一〇〇周年事業としてPTAと協力していただき、エアコンの残りの部分の設置を進めていただいております。その他マイクロバス、大型ワゴン車、理科の実験器具の充実、楽器の購入、留学希望者への支援等々を検討していただいております。心より感謝申し上げます。

縣陵三二會

(昭和32年 高9回卒)

平沢 和久

〒214-0036

川崎市多摩区南生田6-26-1

長野県 松本県ヶ丘高等学校 東京同窓会

会長 佐藤悦雄

(昭和33年 高10回卒)

〒203-0043 東京都東久留米市下里7-3-33 Tel. Fax. 042-475-3241



松本県ヶ丘高等学校東京同窓会長 佐藤悦雄(高10回卒)

五〇余年続く同窓会

同窓生の皆様におかれましては御健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年はおリンピック・パラリンピックの開催が楽しみです。しかし、昨年の豪雨は千曲川流域にも多大な被害をもたらし、今もって尾を引いており、一日も早い復興をお祈りいたしております。

この六月一三日に第五三回の東京同窓会が開催されます。半世紀にわたり縣陵東京同窓会が継続して開催され、内容も時代に合わせて変化しており、素晴らしいことと思います。推進の中心となっております役員の方々(副会長・幹事長・代表幹事・その他役員・毎年の同窓会担当学年の方々等)には同窓会を代表して御礼申し上げます。今年の同窓会は四二回卒(二〇〇一年)の方々が、中田実行委員長を中心とし、そこに担当役員が力を合わせ進めて下

さいました。同窓会は一八歳の方から九〇歳代の方まで幅広い世代が集う団体であります。考え方、表現の仕方、通信手段まで多種多様であります。

同窓会の連帯感、あの学び舎で過ごした学生時代の思い出、母校愛、それに縣陵という言葉から生まれる一体感である

と思います。世代を超え「同窓を感じあう」ことこそが同窓会であると思います。同窓会には本日の懇親会以外に、スポーツ関連でゴルフ、文化面で混声合唱団、女性を中心としたレディースの会など多数あります。私はこれらをミニ同窓会と

思っております。懇親会に参加できない方は、これらミニ同窓会に参加し仲間との交流を楽しみ、同窓を感じあってほしいと思います。

知の如く県下の一部小中学校が廃校となり、又合併し新しい学校が生まれており

ます。

このことは高校においても同様であり、すでに一部の地域では統廃合が始まっておりま

す。中信地区においてははいよいよその検討時期が近いと考えておかなければならないと思います。松本県ヶ丘高校がどのようなことになるかわかりませんが、同窓会は時々適切に対応していくことが必要です。大切なことは県ヶ丘(縣陵)の同窓会はしっかりとおり、素晴らしいと評価されるよう同窓会活動を行い、その地域、教育



令和元年6月8日 第52回東京同窓会 総会・懇親会

界に大きな存在感を持つことだと思っております。令和二年は母校にとって、また同窓会におきましても大切な年になると思っております。皆さんと一緒に力を合わせ、より良い同窓会にしたいと願っております。

最後にになりましたが母校の発展と、皆様のご健康、お幸せを心よりお祈りしております。

健康ですか?
悩んだり あきらめる前に

松本 整体

〒168-0082 東京都杉並区久我山 5-7-9-102
(京王井の頭線 久我山駅前)

TEL 03(3332)5725(予約制)

院長 久保田昇子(高18回卒)

TSUKAHARA JEWELRY
Pearl-Colored Stone・Diamond

有限会社 塚原ジュエリー 塚原 哲夫(高18回卒)

南洋珠・色石・ダイヤモンド輸入・卸

〒164-0014 東京都中野区南台3-10-4-302
TEL/FAX 03-3837-9758 携帯 090-3234-6187

不動産・相続の身近な相談所

三澤 政興(高18回卒)

ファイナンシャル・プランナー(CFP)
公認不動産コンサルティングマスター
上級相続アドバイザー

株式会社 日本ビルワーク
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-35
小林ビル1F
Tel:03(3237)1370 携帯090-2525-5037
Email : m-misawa@nbw.co.jp



母校・縣陵への感謝の想いを込めて

第53回実行委員長

中田 清光 (高42回卒)

縣陵の東京同窓会について意識

し始めたのは一年半ぐらい前だったと思います。どのような経緯から携わり始めたのか、今となっては記憶がないのですが、まさか自分が第三回の実行委員長を務めるを得なくなるとは思ってもいませんでした。毎年の総会・懇親会は、縣陵を卒業してから三〇年経った同窓生が運営を担当する伝

統となつていきます。職場や家庭など忙しいこの時期に時間をやりくりして準備をするのは大変ですが、人生の折り返し点とも言えるこのタイミングで、原点に戻って母校の発展を考える機会を得ることは、とても意義深いことだと思います。

私が尊敬する師匠が言っていた言葉ですが、人が生きていく上で

最も大事なものは「報恩」だと思えます。今の自分を形作るうえで、縣陵での三年間は紛れもなく大きな影響を与えています。それに対する感謝の想いを込めて母校に恩返ししたいとの想いで、今年の総会・懇親会の準備を実行委員と一緒に進めています。

「母校に恩返しする為には具体的に何をしたらいいのか」、「母校の発展の為に同窓生として何ができるか」という問題意識を一人ひとりが持つて、今年の総会・懇親会にご参加頂けるようにしたいと思つていきます。

今は、若手の同窓会離れや、「同窓会に行けない症候群」が増加し

ていると言われています。そういう時代であるからこそ、余計なお節介かもしれません。こちらから積極的に若手に声をかけ、若手が気兼ねなく楽しんで参加できるように同窓会にしていきたいという想いでいます。そして、世代を超えて強い絆で結ばれている縣陵ネットワークの奥深さを知ってもらいたいという想いを込めて、今年の総会・懇親会のテーマを「縣陵ネットワーク再発見!」としました。

ぜひ、縣陵の同窓生に声をかけあつて頂き、六月一三日に皆さまと会場でお会いできることを心から楽しみにしております。



母校愛のリレー 実行委員会を通して

「母校愛のリレー」実行委員長

柳沢 千加 (高42回卒)

母校愛のリレー実行委員会がそろそろ立ち上がるという時、仕事柄、時間の融通がきく私は何かお手伝いできたらいいな程度で

に寛容に、そして気転をきかせながら素晴らしい働きをしてくれたお陰でここまでやって来られました。みんな、本当にありがとう!

がこのような大役を仰せつかると思ひもありませんでした。それからこれまで、私はただただ居るだけで動かさず言いたい放題の存在でした。他のみんなが誠実に勤勉

末、授業を見学させていただいた時、私が高校生だった時との違いに瞠目しました。生徒の皆さんお一人お一人が目的意識を持つて積極的に授業に参加しているように

見受けられ、その歳からそのような気持ちでいる姿に眩しさと頼もしさを感ずりました。

ここ数年、特に今年に入つて私たちの価値観や枠組みを覆す現象が数多く現れています。ニュースやSNSなどを見て心が動揺することもあります。私たち一人ひとりがしっかりと自分の頭で考え自立した上で、今回の実行委員会や同窓会の活動など、利害を超えた関係がこれからの時代に、大切なものになるのではないのでしょうか。そして寛容さと柔軟性と識別を持ちながら日々を過ごしていきたいものです。

最後に私の心の指針としている

ヴァーチューズ・プロジェクトのヴァーチューズ・カードから「喜び」を紹介します。

『喜びに満ちているということ』は、心の中に安らぎと幸せがあることです。毎日、もたらされる贈り物に感謝をすることです。喜びの心がないと、楽しいことが終わると幸せも終わってしまいます。喜びは困難を切り抜ける力になってくれます。悲しみを感ずっている時でも喜びに満ちた心があれば大丈夫です。喜びは私たちに空を飛ぶための翼を与えてくれます。』

「ヴァーチューズ・カード」リンダ・カヴェリン・ポポフ著 大内博訳 (太陽出版)



学校法人をはじめ各種法人のさまざまな事務処理、アウトソーシングを一括受託
株式会社 **ポストインネットワーク**
ホームページ <http://www.postin-net.com/>



発送代行、データ管理は、Pマーク企業の当社におまかせ下さい。

相談役 **村越 政雄** (高21回卒)

本社：〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSビル4F
企画営業部：Tel.0422-23-7620 Fax.0422-23-7630
Tel.0422-23-7616 Fax.0422-23-7626
物流センター：〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田1-19-6-2F
Tel.04-2951-7507 Fax.04-2951-7517

縣 陵 三 四 会

巢山 英毅 (高11回卒)

〒178-0062
東京都練馬区大泉町6-11-6
Tel.03(3925)0244 Fax.0263(82)5711



恩師…3年A組担任・国語 おのふみお 小野 文雄

ポテトチップ

一二七〇袋

縣陵は本館が四階建てに改築され、社会では世紀末的な大久保事件があり、美空ひばり、手塚治虫が亡くなり、昭和天皇が崩御。そして平成と改元。「キャプテン翼」「武田信玄」が放映され、リクルート事件が発覚。消費税が導入され、あがた屋のアイスクリームが五十一円に値上げされるとボヤいていた時代である。

生徒会は総会の流会から始まった。授業は講座別となり、SHRのみ全員が集まった。声の透る副ルム長が出欠を付けた。个性的で、パワーある仲良き生徒であった。野茂とか元木とか桑田とか、またプロストとかセナとか青木宣篤とか、アルフィーとかちびまるこことか賑やかだ。英文二〇文暗記テストとか、九月半ばの水泳補修等々に耐えていた。総合体育大会や縣陵祭やコンクールに向け、ある人は足の筋の激痛を堪え一センチでも目標へ跳び、ある人は冷たい



真鍮の楽器を吹く朝練に励み、また縣陵祭へ上條恒彦を招くべく涙ぐましく努力する人等がいた。

このクラスが春のクラスマッチを迎えると、三種目優勝、二種目準優勝。ポテトチップ一四〇袋獲得した。強かった。縣陵祭はリニアモーターカーを作り動かす等々、各種発表に盛り上がった。クラス展示は全員の似顔絵をベニヤ板に各人の特徴を捉え描いた物だった。合唱コンクールは夏休みの補習より練習し銀賞となった。最後の秋のクラスマッチは、全員で大声で声援。優勝準優勝各二種目、ポテトチップ一二七〇袋。すごい団結力であった。受験への切り替えは、ある人は暴走族が家の周囲を走る騒音の中頑張り、ある人は後れていると午前二時まで頑張ったとか。

ベルリンの壁の崩壊に現場で喜びたいと言いつつ、天安門事件に憤り、戦車に制圧された民衆に涙したクラスは忘れ難いものだ。



みなみあきこ 南 暁子 (高42回卒)

原点は縣陵

「このままだと縣陵は無理だな。」

中学三年の一二月の三者面談で言われたセリフです。一五歳の私は、当時から負けず嫌いで、大嫌いな担任教師の一言に、俄然火が点いて高校受験を突破しました。

縣陵入学後、高二の夏から一年休学してポルトガルに留学しました。特段志が高い訳でなく、余りに勉強が難しく、逃げ出したというのが実情です。勿論一年という長い間外国で生活する経験は、楽しいだけでなく過酷な経験でもありました。

一年経って一学年下のクラスに戻っても、バカはバカです。成績は日本を出る前より下がっていました。でも、「もう浪人はできない」という覚悟と「日本語で勉強できる喜び」が以前との違いでした。どんなに逃げたくても、もう逃げない場所はありません。帰国当時、英語以外の科目は偏差値三〇台。私は必死でゼロからの勉強を開始しました。陸上部に入り、高三の六月まで薄川を走りながらも、受

験勉強は手を抜かず、現役合格することができました。

大学四年の就活は就職氷河期。希望職種の募集人数は前年度比六〇%減。しかし、無事航空会社の客室乗務員職の内定を取ることができました。勿論就職した後も山あり谷あり。一〇年勤務して退職後、宅建士、行政書士資格を取得し、現在は東京で開業して六年目です。

何度試験を受けても、原点は一〇代の頃の経験です。「もうダメだ」と他人から烙印を押されても、努力することによりそれを覆すことができる、その爽快感！努力した人が必ず成功するわけではないけれど、成功している人は必ず努力している。だから自分の為に努力する。努力は自分に自信を与えてくれる。三〇年も昔の経験が今も自分を支えてくれています。「あの時諦めなくてよかった。」中学三年の自分に感謝すると共に縣陵で過ごした四年間が大人になった今でも自分の原点だと思っています。

総合建設業・一級建築士事務所・宅地建物取引業



ひとに優しい未来を創る

ASUPIA

AMENITY, SECURITY & UTILITY for UTOPIA

株式会社 アスピア

代表取締役
百瀬 方康
(高22回卒)

〒390-8639 長野県松本市宮淵1-3-30 TEL.0263-32-8855 FAX.0263-35-1618 E-mail:info@asupia.co.jp

一緒にゴルフしませんか？

新会員募集中

ゴルフ同好会 アルペン会

年2回名門コースでコンペ有り
一人でも参加できます。

会長 奥原 弘夫 (高11回)

連絡先 agatagolf@yahoo.co.jp





第53回 松本県ヶ丘高等学校 東京同窓会総会・懇親会のご案内



日時 :2020年6月13日(土)

受付:12:00~/開場:12:15~

総会:12:30~/懇親会:13:15~16:00

*当日はお気軽な服装でお越し願います。

縣陵ネットワーク、再発見!

長年、同窓会の中で培われてきた世代を超えたネットワーク。「縣陵」という大切な原点を共有し、強い絆で結ばれている私たち縣陵同窓生のネットワークの価値、奥深さを感じて欲しいという想いを込めて、今年のテーマを「縣陵ネットワーク、再発見!」としています。2023年の縣陵創立100周年を目前に控えたこの時期にこそ、この壮大なつながりを見つめ直し、未来につなげていく、その起点となれど願っております。

第53回松本県ヶ丘高等学校東京同窓会実行委員会一同

2023年 縣陵は創立100周年を迎えます。

会場

アルカディア市ヶ谷(私学会館)3階富士の間

address:東京都千代田区九段北4-2-25

tel:03-3261-9921

access:JR/地下鉄市ヶ谷駅から

靖国通りを靖国神社方面へ徒歩2分

会費

一般:10,000円

準若手世代:7,000円

(2000~2009年3月に卒業の方(高52~61回卒))

若手世代:3,000円

(2010年3月以降に卒業の方(高62~72回卒))

申込

[申込方法]

東京同窓会公式ホームページ

「縣陵東京ネット」

<http://www.kenryo-tokyo.net>



あがた42会

(縣陵42回卒同期会)

東京同窓会実行委員

中田 清光
篠崎 文訓
西郷 元美
宮田 好美
池田 さと子
遠藤 徹
奥山 由香
金森 孝至
齋田 英次
高橋 ゆり
田中 真由美
牧田 伸浩
南 暁子

みらい ステキ
天然ガス
松本ガス



VEGEOUT
Vege Out
: リラックスしてのんびり過ごすこと
「農業で創る、ゆとりある暮らし」
代表取締役
吉田 智章 (高48回)
Tomoaki Yoshida
〒390-0875 長野県松本市城西 2-1-6 佐野ビル 2F



東京同窓会総会・懇親会
先輩も後輩も 男子も女子も
いつもの人達も新しい人達も
みなさん、お待ちしております。

縣陵 42 回卒業生同期会
agata.42kai@gmail.com

あがた42会



本 社 〒390-0831 長野県松本市井川城 3-3-8-5 TEL 0263-25-7668
東京本社 〒130-0026 東京都墨田区両国 1-3-8 TEL 03-5669-0292
<https://www.gpc.co.jp/>



人にやさしいまちづくり

株式会社グラフィック

代表取締役 浅井俊貴 (高38回)
取締役 百瀬 晃 (高42回)
東京本社 金森孝至 (高42回)
松本事業所 丸山善大 (高62回)

年代を超えた縣陵生の社交場 **ガード下縣陵会**

日時: 奇数月の第二土曜日・15時~19時
会費: 3,000円 (飲み食い放題・カラオケ付)
会場: JR 神田駅南口ガード下

ふじくら 宮ちゃん 店主: 宮腰 正英 (高15回卒)
03-3258-4758

会長 平賀 幸司 (高14回卒)



○飲酒は20歳を過ぎてから!

昭和モータース
SHOWAMOTORS

取締役 北澤 剛 (高42回)

〒390-1401 TEL 0263-92-2250
長野県松本市波田 9784-3 FAX 0263-92-6430



Be Factory
株式会社ビーファクトリー
東京都足立区鹿浜 1-13-19
TEL 03-3857-8155
<https://www.befactory.net>
代表取締役 中村茂幸 (高27回)

いりや画廊
Gallery Iriya
東京都台東区北上野 2-30-2
TEL 03-6802-8122
<https://www.galleryiriya.com>



福の会
29 の かい
東京同窓会高29回卒一同



Report

母校 応援団 訪問

取材レポート 久保田 昇子くぼた のりこ (高18回卒)

女子も男子もいる応援団

縣陵で初の女子応援団長が誕生したと聞き、とても興味をそそられた。バンカラ、上下関係、スバルタ式等のイメージがある応援団だが、ついに女子が入り、応援団長にもなれたのだと嬉しかった。当の杉本芽生すぎもと めいさんに聞いてみると「応援練習の時の応援委員の所作がカッコ良くて、私もやってみたいな、と思ったのです。」と微笑んだ。

その思いから、いざ入ってみると、上級生は男子だけだが、同期は六人全員が女子だったという。当然、三年生になれば、女子だけになることがわかっていたわけで、初の女子応援団長誕生は、ごく自然な成り行きだったようだ。

聞けば、今年の一年生も全員が女子だという。何故、男子のなり手がいないのか、不思議に思ったので、男子委員に聞いてみた。

五十嵐一真いごらしかずまさんは「今は女性の方が積極的な時代だし、男子は応援することに意義を見出せない

かったりする。それに最近、部活が盛んになり、部によっては応援委員とダブってはいけない、というしりがあるのです。」

二〇一七年、NHKで東京六大学初の女性応援団長誕生の番組が放映された。大学でもそんな新風が吹く時代なのだ。高校生の女子応援団長誕生など、なんの不思議もないのかもしれない。

杉本さんは、女性ならではの視点から、応援団を変えていく。「怒

鳴るような口調や人をけなすような言葉遣いを改め、パフォーマンスの時、三年生も指揮台に乗れるようにしました。」私は、応援委員の入室、着席等の時に、全く男女の別なく行動していた



5名の新3年生が披露してくれた「フリー、フリー、ケンリョウ。のエル・パフォーマンス

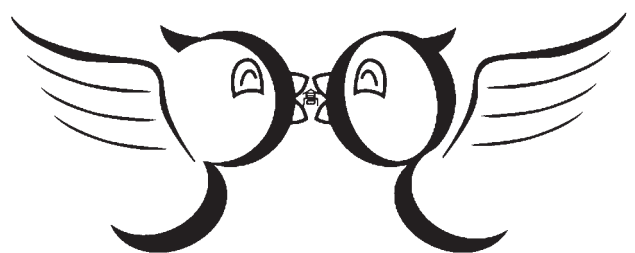


← どこだかわかる？



みんなの会 37回卒 同窓生一同

Hello!
We are
Thank You
KENRYO-Kai!



高校39回卒業生の会 サンキュー縣陵会



現在のクラブ活動について 教頭先生にお聞きしました

あさい ひでとし
松本県ヶ丘高等学校 教頭 **浅井 秀俊** 先生

どのクラブも一生懸命に活動をしている。平成31年度は、運動系クラブでは山岳部の男子と女子、陸上部の走り高跳びで一人がインターハイに出場。文化系クラブでは棋道部(囲碁)が全国総合文化祭・佐賀に出場した。また、物理科学部がeスポーツというパソコン上でスポーツを戦う競技で茨城国体に出場した。県下でも山岳部のある学校が少ない中、全国大会に出場する生徒がいることが凄いと思う。

今はクラブ数が増えているので加入人数が少ないクラブもある中、人数が一番多いのはサッカー部。1~3年生で100人を超えている。中信地区では私立高校4校が力を入れて強くなり、勝ち抜くことが難しくなっているが、県立でサッカーをやるなら伝統がある縣陵で、というブランドが生きているようだ。文化系ではダンス部、運動系では弓道部、バトミントン部に人気がある。

クラブ活動は生徒の自主性に任せているが、ケガなどが心配されるので、一つのクラブに必ず二人以上の顧問が就くよう先生方の努力に支えられている。クラブ加入率はのべ人数で100%を超えており、これだけの高校はなかなかない。

クラブ加入状況(令和元年5月1日現在) ※数字は加入者数

■運動系クラブ……523名(54.6%)

サッカー106、男子バレーボール9、女子バレーボール14、男子バスケットボール37、女子バスケットボール9、テニス44、ソフトテニス27、バドミントン69、卓球34、野球25、剣道11、陸上30、水泳13、山岳24、弓道59、空手道12

■文化系クラブ……465名(48.5%)

吹奏楽48、音楽(合唱)17、演劇8、白虹会(美術)13、写真14、軽音楽54、茶道19、地学8、物理化学29、漫画研究8、世界幻想文化研究会11、新聞11、棋道26、書道16、インターナショナル26、家庭科イキイキ15、地球の会(ボランティア)15、ダンス90、生物研究7、歌留多23、華道同好会7

※浅井先生は新年度から教育委員会学びの改革支援課主幹指導主事へ転任

よう、新年度の応援団長の關瑠那さんは「私達の代は最初から男女がともに行動する環境だったから、男女力を合わせて充実を図りたい。」と語った。また副団長の五十嵐さんも「女性の人気が高いので、男子も負けずにカッコいいと思われるよう努力し、サポートしていきたい。」と力強く語った。副団長の増田彩花さん、乾凜さん、山本航大さんと、同席した三人とも応援委員のかっこよさに憧れて立候補



前列左から…關瑠那さん(新応援団長)、杉本 芽生さん(前応援団長)、増田 彩花さん、後列左から…乾 凜さん、五十嵐 一真さん、山本 航大さん、顧問・降旗 史朗先生

補だったようだ。応援委員は心技体を鍛え、鮮やかな所作で生徒たちを鼓舞し、誘導していく。そんな凛々しい姿に憧れるのも無理はない。故にこうして、今日まで引き継がれてきたのだろう。最後にお願いをし、パフォーマンスを見せてもらった。堂々と、そして凛とした声が部屋に響き、他の応援団員の鍛えられた声と相まって、実に見事なパフォーマンスだった。

医療法人社団 梓会

- 一般歯科
- 口腔外科
- 審美歯科

古畑歯科医院

いびき・睡眠呼吸障害研究所

日本歯科大学付属病院 内科 臨床教授
東京医科歯科大学附属病院 非常勤講師
日本睡眠学会 歯科専門医

古畑 升 (高22回卒)

〒107-0052 東京都港区赤坂6-15-1 ミツビル2F
TEL・FAX 03-3587-1832

暮らし継がれる家

甲信アルプスホーム株式会社

松本市笹部1-3-6 TEL.0263-28-3131

三井ホーム

インテリアARAKI

内装工事・設計・施工

代表 **荒木 仁** (高23回C卒)

〒157-0061 世田谷区北烏山7-2-18
TEL:03-3308-5610
FAX:03-3308-5624
Email:gh-araki@jcom.home.ne.jp

鶴ヶ島の家 外観

鶴ヶ島の家 居間内観

小松清路建築研究所

SEIJI KOMATSU ARCHITECT & ASSOCIATES

代表 **小松清路** (高23回卒)

〒169-0072 新宿区大久保2-1-3-1201 TEL.03-3209-3127 FAX.03-3209-3126
E-mail:aska@aska-komatsu.jp URL http://aska-komatsu.jp/

グラフィックデザイン(有)荒木デザイン室

代表 **荒木 仁** (高23回 i 卒)

tel.042-301-1144 fax.1145 araki@arajin.jp



松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 令和元年度 決算報告

【一般会計の部】

自平成31年4月1日 至令和2年3月31日

単位：円

収入の部		支出の部	
適用科目	金額	適用科目	金額
前年度繰越	408,241	総会関係支出	2,800,116
本部助成金	100,000	総会懇親会費	2,532,613
総会関係収入	2,865,001	実行委員会費	87,576
総会会費	2,654,000	次期引継会費	179,927
寄付金	91,000	会報発行費	530,308
ご祝儀	120,000	制作費	118,260
雑収入	1	印刷費	125,956
広告収入	570,000	発送費等	286,092
会報あがた広告	486,000		
縣陵ネット広告	84,000		
会費特別勘定繰入	596,000	その他支出	1,417,264
会費繰入(年)	296,000	幹事会費(3回)	638,455
会費繰入(終)	300,000	総務委員会	229,145
		総会指導委員会	22,160
幹事会費(3回)	361,000	渉外委員会	110,428
寄付金	0	広報委員会	61,630
その他	0	HP運営費	158,180
仮払い戻り	100,000	6年委員会	10,000
		縣陵レディース	150,000
		財政委員会	0
		会計委員会	15,574
		事務局	15,260
		諸雑費	6,432
		仮払金	100,000
銀行利息	4	次年度繰越金	152,558
総合計	5,000,246	総合計	5,000,246

令和元年度特別会計の部

1. 会費特別勘定

前年度未会費口預金残高	6,589,305円
本年度終身会費受入額	140,000円
本年度年会費受入額	280,000円
寄付金受入額	54,000円
広告費受入額	510,000円
総会懇親会参加費受入額	1,919,000円
普通預金利息	51円
縣陵ネット掲載料受入額	84,000円
郵便振替・銀行振込手数料(-)	-39,466円
一般会計勘定繰入(-)	-1,166,000円
実行委員会口座繰入(-)	-1,960,000円
前受金戻し(-)	-85,000円
前受金(令和2年)年会費口含む	68,000円
会費口座預金残	6,393,890円
終身会費口預金残高	5,531,830円
年会費口預金残	862,060円

2. 特別基金勘定

りそな銀行定期預金(自由金利口)	1,633,935円
内 当期預金利息	139円

会計報告

令和元年度一般会計の部並びに特別会計の部を上記の通りご報告いたします。

注記：特別会計広告費受入額510,000円と一般会計振替広告費486,000円の差額24,000円は特別会計会費口座預金残に含まれます。

2020年4月16日

会計幹事 小林哲彦

会計監査報告書

会計幹事より提出を受けた帳簿、領収書、伝票類をもとに慎重に監査した結果、上記会計報告は適正であることを認めます。

令和2年4月16日

監事 高附 弘幸 新津 毅

第52回繰入金 64,885

令和元年度次期繰越金内訳

みずほ銀行普通預金	152,558円
会計幹事手許現金	0円
合計	152,558円

会費振込みのお願い

会則第15条に基づき令和2年度の年会費のお支払いをお願いしております。同封しました郵便払込取扱票をご利用のうえ6月末日までにお振込下さい。

年会費	2,000円	終身会費	20,000円
			(財政委員会)

令和元年度 事業報告

総務委員会	母校創立100周年建設委員会に三澤幹事長、小松副会長参加。合同幹事会4回、代表幹事会2回開催。ふるさと納税による母校への寄付呼びかけ。
縣陵レディース委員会	9月28日秋の遠足実施「盆栽(BONSAI)&鉄道」参加者40名(女性19名、男性20名、同伴者1名)
渉外委員会	中信同窓連：総会、親睦ゴルフ会、バス旅行、忘年会に延47名参加。東京同窓連：総会、新年会、ゴルフ会延37名参加し、他校同窓会との親睦を図った。
広報委員会	会報あがた41号発行。母校卒業生向けチラシを配布。縣陵東京ネットの更新・維持管理を行い、縣陵コネクションのページ作成に協力する。
総会指導委員会	第52回東京同窓会総会・懇親会支援。テーマ：Generation ～昭和、平成、そして新しい時代へ 高41回伊藤実行委員長、参加者251名、7月27日：高42回実行委員会へ引き継ぎを行う。
六年委員会	6月1日松本本部総会・懇親会に参加、高47回当番と交流を図った。11月11日母校訪問：佐藤(35回)、尾崎(35回)、中田(42回)、松澤(35回)4名参加。授業参観及び職業紹介を行う。

日ごろ、東京同窓会の運営にご協力いただきありがとうございます。

東京同窓会は、関東圏在住2690名の同窓生からの年会費、終身会費により運営されております。今日迄、600名以上の皆様から終身会費の納付協力をいただき、また、昨年は140名の皆様から年会費の納付協力をいただきました。改めて、東京同窓会の運営に浄財を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。皆様方のおかげで、年々総会・懇親会の参加人数増加や各分科会のイベント参加拡大でますます盛り上がり、縣陵生の絆を深め広めることができました。毎年納付いただきました年会費、終身会費は各委員会の事

業計画に沿って無駄の無いよう使わせていただいております。

また、今回の総会や、3年後の松本県ヶ丘高等学校創立100周年行事に向かって財政基盤の充実を図る努力をして参ります。つきましては、東京同窓会運営にご理解いただき、また、年会費、終身会費の納付手続きをなされていない会員の皆様に、同封の郵便払込取扱票をご利用いただきお振込のほどよろしくお願ひ申し上げます。

財政委員長 脇川 研二(高28回卒)

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 令和2年度 予算案

【一般会計の部】

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日 単位：円

収入の部			支出の部		
適用科目	金額		適用科目	金額	
前年度繰越		152,558	総会関係支出		2,598,262
本部助成金		100,000	総会懇親会費	2,349,708	
総会関係収入	2,890,000		実行委員会費	73,254	
総会会費	2,670,000		次期引継会費	175,300	
寄付金	100,000		会報発行費		557,000
ご祝儀	120,000		制作費	130,000	
広告費		600,000	印刷費	127,000	
会報あがた	480,000		発送費等	300,000	
縣陵コネクション	120,000		その他支出		1,889,700
			幹事会費(4回)	900,000	
会費特別勘定繰入		880,000	総務委員会	272,000	
会費繰入(年)	280,000		総会指導委員会	50,000	
会費繰入(終)	600,000		渉外委員会	116,000	
			広報委員会	40,000	
寄付金		0	HP運営費	175,700	
			6年委員会	48,000	
幹事会費(4回)		600,000	縣陵レディース委員会	150,000	
仮払金戻り		200,000	財政委員会	75,000	
			会計委員会	20,000	
			事務局	37,000	
			諸雑費	6,000	
			仮払金		200,000
銀行利息		50	次年度繰越金		177,646
総合計		5,422,608	総合計		5,422,608

53回総会本部繰入

291,738

令和2年度 事業計画案

縣陵東京同窓会の活動は、毎年各委員会から提案された事業計画に基づき、年4回の合同幹事会で議題の提案・審議・承認することを基盤としています。永い間、平日夕方からの会合を若手幹事のリクエストに応じ、土曜日の昼からに切り換え、同時に懇親会を開いて先輩・後輩の隔てない親睦を図り、最後は校歌「若き我等」、応援歌「覇権の剣」斉唱で閉めています。会員皆様方の参加を歓迎いたしますので一度お立ち寄り下さい。あと3年後に迫った母校創立100周年に向け、東京同窓会も100周年記念事業委員会を中心に活動して参りますので、今後も変わらぬご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

幹事長 ^{みさわ まさお} 三澤 政興 (高18回卒)



魚と日本酒の旨い店
味彩酒房
じん
仁
代表 岸野 裕二
(高38回卒)
〒102-0083
東京都千代田区麹町4-3-1
Tel. 03-3234-2566

代表 河野 哲男 (高38回卒)
東京都新宿区四谷三栄町 14-1 三栄星野ビル 1F
03-5379-0282 <https://kintaro428.cwst.jp/>



縣陵東京同窓会、活動この一年

東虹会

東虹会は東京同窓会の同好会として活動している。春の花見会、12月の忘年会が主な年中行事。2019年には中心的存在の2名の巨星が逝去された。栗田浩(高3回卒)さん、金田宣紀(高9回卒)さんのご冥福を祈る。2021年10月には第8回東虹展を「いりや画廊」で開催予定。絵画、彫刻、陶芸、工芸、書、デザイン、建築などジャンルは様々で、多くの力作の展示が見込まれる。東虹会では若い縣陵生のものづくり会員をいつでも歓迎しています。



丘の会

丘の会は平成21年に、関東地区在住の松本県ヶ丘高校野球部OBの有志で発足して現在に至っています。丘の会は、会員の懇親、相互交流、母校野球部の強化、発展に寄与することを目的としています。主な活動は親睦を兼ねた総会、母校野球部の応援、丘の会便りの発行等です。現在の会員は30人程度ですが、年会費1,000円、協力費一口1,000円をいただいて運営しています。野球部OBは誰でも参加できますので、丘の会広告の連絡先まで気軽に申し込みください。お待ちしております。



あひるの子の会

東京同窓会の有志により合唱団「あひるの子の会」が発足。指導者は同窓生のバリトン歌手伊東達也先生。ピアノ伴奏は芸大卒業後白馬村の実家に帰られた早川先生に変わり、2月より同窓生ではないが薄木あおい先生が担当。現在の会員は21名。昨年6月の東京同窓会懇親会でコーラス披露、7月の「東京都合唱祭」に参加。今年は同窓会懇親会、合唱祭の他、10月31日松本の音楽文化ホールで開催の「あひるの子の会」のコンサートに参加予定。練習は月二回。合唱未経験者も多くだれでも楽しめます。活動の様子は東京縣陵ネットをご覧ください。



神田ガード下縣陵会

宮腰正英さん(高15回卒)が、25年近く神田駅南口ガード下で守る『宮ちゃん』。平賀幸司さん(高14回卒)会長の下、奇数月第2土曜日の例会は忘年会なども加えて現在40回を超えました。今年度は懸案のお店移転の位置、時期の話題だけでなく宮腰さんの病氣療養など色々ありました。健康のこと、家族の話題が先行しますが「信濃の国」「若さ我等」を歌えば一気にみな縣陵生に。集い、語らい、歌うことが間違いなく健康と意気につながっています。入会手続きは不要。ご一緒できる方のお越しを心よりお待ちしております。



渉外委員会

渉外委員会の活動は、長野県下の高校同窓会を通して、他校との親睦を図る事としている。長野県下53校が参加し、本校嶋山氏を会長とする長野県同窓連と、中信地区の11校が参加している中信同窓連の二つの組織に属し、行事等積極的に参加している。長野県同窓連の総会が7月、新年会が2月、中信同窓連の総会が5月、忘年会が12月に行われ、本校の参加者は全校中でも常に上位を保っている。また、中信同窓連の行事として秋に1泊2日の懇親旅行が企画され、本年度は76名の参加者がバス二台で清水、焼津方面を巡った。本校からは13名参加した。

縣陵レディース委員会

縣陵レディース委員会は、女性会員の同窓会活動への参加促進に関連する活動として、毎年行事を企画して、実行しています。昨年度は22回目の行事となり、秋の遠足!大宮で日本の文化に触れる「盆栽(BONSAI)&鉄道」のタイトルで、「さいたま市大宮盆栽美術館」と「鉄道博物館」を巡る企画を行いました。参加者は、女性19名(内役員8名)、男性20名、同伴者1名の合計40名でした。女性会員の方には、郵送で案内状を送付いたします。又、東京同窓会のホームページにも、ご案内及び参加申込フォームを掲載いたします。参加申込は、案内状に同封されているハガキ又は、ホームページの参加申込フォームからお願いします。男性会員の方の申込も受付けています。今年も、楽しく魅力的な企画を計画して、皆さんに参加して頂けることを願っています。ぜひ参加ください。縣陵レディース委員長 衣袋めぐみ(高27回卒)

6年委員会

6年委員会は実行委員年次より6年遡った若い世代の絆を深める活動を行っているが、100周年を見据え松本本部総会懇親会にも参加し松本との繋がりを深めた。東京同窓会では校長先生と話が弾み、職業紹介の授業の機会を頂いた。OB4名で母校を訪問し実際に携わっているサイバー攻撃対策や再生医療の現場をお伝えした。現役縣陵生の真剣な眼差しを実感。凛とした現役女子応援団員にも話が伺え、縣陵生の絆をあらためて実感した。

ゴルフ同好会 アルペン会

東京同窓会ゴルフ同好会「アルペン会」は昭和44年11月29日に第1回大会が赤羽GCにて参加者8名で開催されました。年齢の壁を越えた同窓生の親睦で、和気あいあいとゴルフを楽しんでいます。今期は第83回大会を本部同窓生も募り、10月22日(木)上野原CCで開催します。長野県の高同窓会との交流、親睦大会もあり、一緒にゴルフを楽しみたい方はご連絡下さい。アルペン会活動報告などは、縣陵ネット(下記アドレス)へアクセスしてください。http://www.kenryo-tokyo.net/activity/alpen_golf.html アルペン会事務局 青柳善久(高20回卒) agatagolf@yahoo.co.jp

東京OB会の入会を常時受付中!!

縣陵野球部を応援します。

松本県ヶ丘高校 野球部 東京OB会

会長 松尾 静二郎 (高9回)

045-351-1620

幹事長 千津井 利男 (高10回)

03-3300-4400



めざせ! 甲子園!! 「丘の会」

酒亭

ふじくら・宮ちゃん

宮腰 正英 (高15回卒)

090-7256-9707

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-14-1 (JR神田駅南口ガード下) 電話 03(3258)4758